

サツマイモ情報交流ネットワーク2022
サツマイモに関わる人と情報の交流と課題解決の
プラットフォームづくり

2022年08月02日

自己紹介



橋本亜友樹（はしもとあゆき）

1978年、兵庫県尼崎市生まれの44歳。
千葉県柏市在住。妻と娘の三人家族。

【学歴】

2000年 神戸大学農学部 植物資源学科卒業

2002年 神戸大学大学院自然科学研究科 植物資源学修了

2015年 グロービス経営大学院大学 経営学修了（MBA取得）

【経歴】

大学院卒業後、日本ヒューレット・パッカードに入社しシステムエンジニアとしてキャリアをスタート。その後、アビームコンサルティングにてITコンサルタントとして勤務した後、2012年6月に「ITで農業を支援する」をミッションに株式会社エーブリッジを起業。その後、2015年8月にさつまいもカンパニー株式会社を設立、2019年8月に一般社団法人さつまいもアンバサダー協会を設立し、それぞれ代表に就任。

2019.6.21

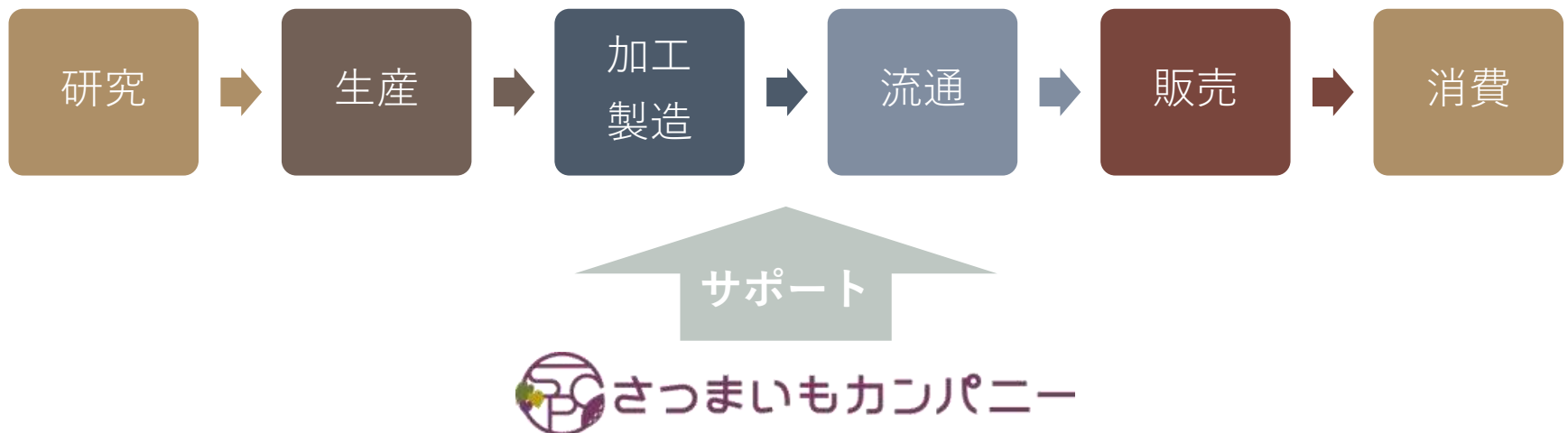
サツマイモ情報交流ネットワーク・シンポジウム
振り返り

さつまいも価値共創ネットワークを築く

現在、国内は第4次ブームと言われ、焼き芋を中心として消費が伸びており、日本からの焼き芋用イモの輸出が活発化している。

その一方で、これまでサツマイモの研究、加工・商品作りの面で世界一であった日本も、人材不足や研究の弱体化などの危機を抱えている状況で、今後のサツマイモ産業の振興や海外戦略にはオールジャパンでの取り組みが必要と考えている。

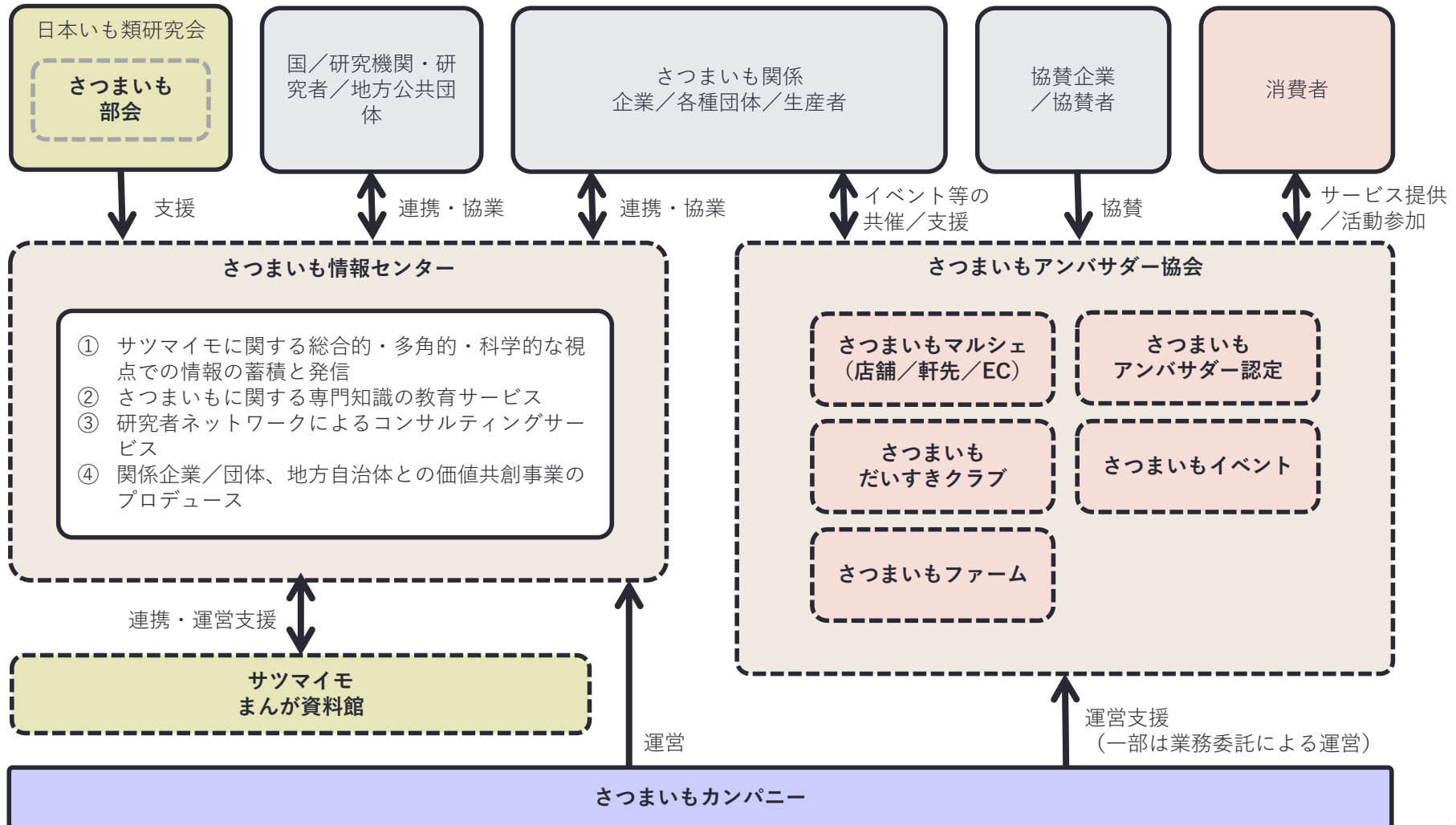
そのために、バリューチェーンを構成する研究者・生産者・企業および消費者の連携をサポートし、新しい価値（商品・サービス）を共創する仕組みを作ることを目指す。



既存事業者や関係者とともに、新しい価値を共創し、
さつまいも産業の振興に寄与する

さつまいも産業振興ネットワーク構想（2019）

「サツマイモ情報交流ネットワーク・シンポジウム」で、さつまいも産業の振興を目的としたネットワーク作りを提案した際の構想図。



さつまいも産業振興ネットワーク構想まとめ

1. さつまいものバリューチェーン全体に対し、2つの機関を設立し、ネットワークを構築してサポートする。
2. 重要なのは情報だけではなく人的なネットワーク。
3. さつまいもアンバサダー協会は、実施する内容はある程度決まっているので、制度設計をしながら進めていく。
4. さつまいも情報センターは、課題解決型なので、課題のヒアリングを行いながら、サービスの設計を進めていく。

サツマイモ情報に関するアンケート結果

サツマイモ情報交流に関するアンケート結果①

Q. 日頃、サツマイモに関して「どのような情報が一番欲しい」と思っていますか？

- サツマイモの品種（新品種開発）とその特徴、全国各地の地域振興との関わり、ユニークな商品開発、栄養面と健康への効果
- 生産者や加工業者、流通・販売業者からの研究開発に対するニーズ。例えば、品質、栽培面、病虫害抵抗性、あるいは機能性や新規利用など。幅広い関係者の様々な声を伺うことで、今まで気付かなかったことが出てくると期待。
- 消費動向→どこでどんなサツマイモが売れているのか、消費はどんなところで伸びているのか。
- 先進的な栽培方法。時に各地で取り組まれている効率化や収量UPにつながる技術を一元的に確認できるプラットフォームも欲しい。
- 栽培方法、ほ場管理のポイント
- キュアリングや低温・低湿貯蔵庫の利用方法などの情報（少量の諸の場合）
- 最近の諸外国のサツマイモ事情

Q. サツマイモに関して「どのような人達と情報の交流をしたい」ですか？

- 焼き芋店などの個人商店、サツマイモを使ったお菓子の製造業者、新品種の栽培を行っている生産者
- 生産者、消費者、サツマイモの利用や機能性を研究している大学等の研究者
- 科学的にサツマイモの全体や調理を研究されている方。サツマイモを主原料とされている食品メーカーの担当者（どんな芋を求められているのか）
- 異業種・専門外の立場からサツマイモの世界に入り、新しい潮流を作っている人達
- サツマイモに関心がある多種多様な人・・・研究者、生産者、販売者、加工販売会社、流通・販売業者、管理栄養士、料理家、美容家等
- 世界の様々なサツマイモ研究者

サツマイモ情報交流に関するアンケート結果②

Q. サツマイモに関する「情報の講座やセミナー」について、「どのような知識講座等」を開いて欲しいですか？

- 焼き芋、蒸かし芋の調理の科学的分析、各国のサツマイモ料理と調理方法
- 一般者向けサツマイモ栽培の基礎、サツマイモ料理・利用方法、様々なサツマイモ利用方法（屋上緑化なども）
- 中国関係とアフリカ諸国関係の情報
- 海外マーケットから見た国産さつまいものマーケット需要の方向性／日本産だからこそその魅力づくりのポイントやヒットになる内容
- サツマイモとITの実用例セミナー（他品目で活用されているシステムで、サツマイモに応用可能な技術等）
- サツマイモ経営の成功法則セミナー
- サツマイモの文化史
- 生産・加工・流通・販売の現場における問題点や解決方法
- 基礎科学など

Q. サツマイモ産業を更に振興させるために「どのようなコト（イベント事業等）の開催」をお望みですか？

- とくにサツマイモ商品を対面販売する人に向けた連続講座。最終講義でテストを行い、80点以上獲得者にはサツマイモマイスターの認定証を発行する。継続して名乗るには、一年に一度は、補足講義を受けなくてはならない。
- サツマイモフェス（サツマイモそのものをはじめ、お菓子や焼酎、本、雑貨なども含めてサツマイモに関するもの何でもを一同に集めて販売、調理コンテストなども同時開催）
- サツマイモ甲子園（焼き芋）、サツマイモの種苗展示会（新旧の種が取得できる場）
- “IMO48”（ご当地品種のブランディングサポート）
- 「サツマイモ検定」。普通のイモ好きの人から専門家まで、幅広い層が楽しみながらサツマイモについて学べるよう、難易度を3段階ぐらいに分ける。

(基腐病情報交換会) 所属別関心事項アンケート結果

第1回サツマイモ基腐病情報交換会後のアンケートで、関心事項をヒアリングした結果を、所属とクロス集計した。

- ▶ 基腐病に関心をもって参加されているためか、新品種や病害虫防除の関心が高い。
- ▶ 次いで、栽培技術・貯蔵・スマート農業への関心も高かった。他地域や海外動向も一定数の関心があることがうかがえる。
- ▶ 農業者は補助金、その他（小売や飲食店等と思われる）は加工への関心が高かった。

所属	回答件数	選択数総計	新品種	病害虫防除	栽培技術 (有機栽培を含む)	貯蔵技術・施設	スマート農業	他地域の取組み	農業機械	海外での栽培 輸出及び	海外動向	補助金	販売・PR (ブランド化)	加工 (6次産業化)
行政機関（国・地方自治体）	37	138	46%	54%	27%	41%	49%	30%	32%	24%	27%	22%	16%	5%
民間企業（研究部門を含む）	37	172	62%	76%	70%	57%	41%	32%	24%	32%	27%	24%	8%	11%
公的研究機関	16	51	56%	38%	44%	31%	44%	13%	19%	31%	13%	0%	19%	13%
農業者・農業団体	15	64	73%	60%	33%	60%	40%	47%	13%	13%	13%	40%	20%	13%
その他	8	30	88%	25%	38%	13%	38%	25%	13%	13%	25%	13%	25%	63%
総計	113	455	59%	58%	45%	45%	43%	30%	24%	26%	23%	21%	15%	13%

※75%～、50%～74%、25%～49%で色分け

(基腐病情報交換会) いも類振興へのアンケート結果

所属	いも類の振興について
行政機関	JA鹿児島きもつきさんからの紹介で、定植や収穫などの省力機械についての試験実証について非常に興味深いです。当産地も高齢化、後継者不足の中、現状の面積の維持のためには、省力化が最も必要と考えます。今後のそのような勉強会があると良いと感じました。本日は参加できて非常に参考になりました。ありがとうございました。
行政機関	JRTのネットワークには感謝しています。長年ありがとうございます。
行政機関	サツマイモ基腐病について更なる発信をお願いしたい。
行政機関	多様な構成員での取り組みはユニークで有意義だと思います。今後とも活動の継続をお願いします。
公的研究機関	基腐病対策は生産～消費、行政、研究全てが一丸となって取り組むべき課題です。貴協会の今後のご協力をお願いいたします。
公的研究機関	今回のようなウェビナーはとてもよかったと思います。イモ類研究会の総会や講演会等も同様をお願いしたいです。
公的研究機関	事典類に加え、一般読者向けの読みやすいWEB記事・図書類の発行を今後とも進めていただきたいと思います。
民間企業	■最後の質問、サツマイモ事典の話題ですが、ぜひ再販、出版を希望いたします。※この本はサツマイモを扱う会社として必携の本です。現在、手に入れることができないため、困っております（※中古市場では高値です）。ぜひリニューアル出版お願いいたします。購入される方は、とても多いと思います。 ■他のいも類研究会主催のイベントも定期的にZOOMで開催していただきたいと思います。よろしくをお願いいたします。
民間企業	この全国的な課題を解決に導いて頂きたい。各地の情報共有が大切だと今日感じました。南九州地区は対策が進んでいました。関東は抜き取り、という対応で農家さんはかなり悲しんでおられたのでは無いかと思います。
民間企業	ジャガイモ原原種の50袋未満配布品種の配布中止は財務・労務上の困難さから理解するが、品種の多様化による消費振興のための代替え措置が必要と感じる。従来からやっている新品種の試作事業を発展的に転換し、何らかの取り組みに振り返ることはできないか？
農業者・農業団体	いも類研究の方々、ご苦労様です。とても良い交換会でしたので、半年、又は1年後に是非このような交換会を開催して貰えれば、ありがたいです。
その他	いも類関係地のネットワーク化、専門家のリスト公開などお願いできれば助かります。
その他	青果用サツマイモ産地では貯蔵に関心があり、焼酎原料産地では連作を余儀なくされる状況にあるなど、産地特性ごとに課題が異なることが、本日の情報交換会で再認識することができました、有難うございました

サツマイモ情報に関するアンケート結果まとめ

2019年のサツマイモ情報交流ネットワーク・シンポジウムでのアンケート結果、および第1回サツマイモ基腐病情報交換会後のアンケート結果を要約して以下に示す。

2019年のサツマイモ情報交流ネットワーク・シンポジウムのアンケート結果

- ▶ サツマイモに関する情報は、品種情報のニーズは研究者／実需者の双方で高い。栽培や貯蔵に関する技術情報、消費動向や海外情報もおさえておく必要がある。
- ▶ 情報交換対象をまとめると、基本的に消費者を除く、サツマイモに関わっているすべての方が対象といえる。研究者と実需者との交流ニーズが高いと思われる。
- ▶ 講座やセミナーでは一般的な知識から専門的な知識まで幅広くニーズがあるようだが、科学的知見に基づいた内容であることが大切だと思われる。
- ▶ サツマイモ業界を盛り上げる企画がいろいろ挙がっており、今後のイベント企画時の参考情報として活用したい。

第1回サツマイモ基腐病情報交換会後のアンケート結果

- ▶ 関心事項については、サツマイモ基腐病に関心をもって参加されていることから、新品種や病虫害防除の関心が高いのは想定された結果であった。次いで、栽培技術・貯蔵・スマート農業への関心も高かった。他地域や海外動向も一定数の関心があることがうかがえる。農業者は補助金、その他（小売や飲食店等と思われる）は加工への関心が高かった。
- ▶ 生産～消費、行政、研究が繋がり、多様な構成員で諸問題に取り組めるようなネットワークを求める声が多数あった。
- ▶ JRTWebやいも類振興情報の認知度も高く、産地間の情報共有や、セミナーや媒体での情報発信も引き続き求められている。

サツマイモ情報センター

サツマイモ情報センター設立の経緯

1. 2019年6月に開催したサツマイモ情報交流ネットワーク・シンポジウムで設立を提案したが、コロナ禍の影響もあり、設立に向けた具体的な検討や課題ヒアリングなどの活動ができていない状況にあった。
2. 2020年以降、サツマイモ基腐病が全国に発生が拡大する傾向が見られ、様々な分野の関係者を交え、現場レベルでの取り組み状況や今後の対応について全国規模で情報交換を行う必要性があることから、日本いも類研究会、および一般財団法人いも類振興会、日本かんしょ輸出促進協議会の共催でサツマイモ基腐病に関する情報交換会を2021年8月30日に開催。オンライン会議を活用し、非常に有意義な会となった。
3. サツマイモ基腐病情報交換会の第1回目のアンケート結果でもサツマイモに関する情報交換（交流）について今後も継続した取り組みや、地域や立場を超えたネットワーク構築を求める声があがっていた。
4. サツマイモ基腐病情報交換会の定期的な開催と、それを手始めとしたサツマイモ情報の発信、関係機関の連携を主目的としたサツマイモ情報センターの設立に向けた運営方針等の検討を、日本いも類研究会の令和3年度会員発案事業として提案した。
5. 日本いも類研究会の事務局で素案を作成し、幹事会などで議論・検討を重ね、基本的な活動方針や内容が決定。令和3年度の日本いも類研究会総会にて設立が認められる。

サツマイモ情報センター設立の背景

- 国内では、第4次焼いもブームを発端として、年々新しいサツマイモの品種や商品が開発され、種類も驚くほど多くある。サツマイモの育種、加工技術は日本がトップレベルと言われている。
- 近年、サツマイモ業界は変化の時代を迎えており、サツマイモに関わっている研究者、生産者、事業者でも、サツマイモ業界に関する全体や実態を把握できない状況である。
- 高齢化・人材不足等による国内生産量の更なる減少、気象変動による生産量や品質のばらつき・病害虫の発生増加、国内研究者の減少による研究開発の弱体化・技術力の低下といった問題を抱えている。
- サツマイモに関する情報は散在しており、サツマイモに関する専門家・研究者の情報がまとまっていない、産地間の交流が少なく有用な情報の共有化が少ない。
- 数多くの研究テーマがあるが、その結果が十分に活用されているとは言い難い。現場では科学的エビデンスに基づいた取組みや考察が必要である。

よって、今後の日本のサツマイモ業界には、次のような視点をもつことが重要と考える。

1. グローカル

Think Globally, Act Locally。世界規模に展開・通用する考えをもって、地域の文化や慣習に合わせ、社会のニーズに合ったサツマイモ事業に取り組む。

2. オープンイノベーション

サツマイモ業界に対するビジョンや志を同じくする企業・組織が、壁をとりはらって積極的に情報や技術を共有し、新しい事業機会を探索し新規事業を共創する。

3. 未来思考（バックキャストिंग）

サツマイモ業界の「未来のあるべき姿」から「未来を起点」に解決策を見つけ、いま起こすべきアクションを決めて行動する。

サツマイモ情報センター設立の目的

サツマイモ情報センターは、サツマイモに関して何か行おううえでの「基盤」となり、サツマイモ関係者の拠り所となるものを目指す。具体的には、サツマイモ業界において事業を実践する際に直面するさまざまな課題を相談できるところである。

事業を実践するうえでは、事業に合った品種の開発・選定から栽培技術、加工の適性、さらには流通とサービスにいたる、さまざまな疑問・難問を解決していかななくてはならない。そのためには、日本全体や世界の潮流をウォッチして、競争力の増進に先進的に取り組み、サポートしてくれる機関（プラットフォーム）が必要である。

また、サツマイモ業界は変化の時代を迎えており、その変化は何もしないでいれば、関係者に不利益をもたらすものである。サツマイモ産業に横串を通すような仕組みを構築し、それぞれの立場を超えて最良の解決策を研究するプラットフォームが必要である。

上記の視点や課題を踏まえ、サツマイモ情報センターは、サツマイモに関する総合的・多角的・科学的な視点での情報の蓄積と発信、**サツマイモ関係者・関係機関の交流と課題解決のプラットフォーム**として、情報共有や円滑な連携を推進する活動を実施する。

サツマイモ情報センターの運営体制・メンバー構成

センター長、運営委員（複数）、事務局長の体制とする。

運営委員は日本いも類研究会会員の研究／事業関係の方に参画いただいた。
今後、必要に応じて増員を図る。

役割	氏名	所属・役職
センター長	山田 英次	サツマイモまんが資料館 館長
運営委員	大泉 敬士	三好アグリテック株式会社 営業部部长
運営委員	大谷 基泰	石川県立大学 植物細胞工学研究室 准教授
運営委員	門脇 正行	島根大学生物資源科学部 農林生産学科 准教授
運営委員	金田 富夫	JAなめがたしおさい 専務理事
運営委員	齊藤 浩一	株式会社川小商店 代表取締役社長
運営委員	鈴木 敏夫	農文協プロダクション 代表取締役
運営委員	中澤 健雄	日本いも類研究会 事務局長
運営委員	矢野 哲男	(一財) いも類振興会 理事長
運営委員	吉元 誠	マイ食品開発研究所 代表
事務局長	橋本 亜友樹	さつまいもカンパニー株式会社 代表取締役

サツマイモ情報センターの活動

事業・活動		概要
情報発信	Web	ホームページおよびSNS（Facebook／Twitter）を使った情報発信を実施する。ホームページによる発信内容は後述。SNSはホームページ更新やイベントの開催等を告知するために使用する。
	サロン	サツマイモおよび農業に関する書籍、論文の展示を行う。また、サツマイモ関連の冊子や、会員作成のパンフレット等を展示する。これらの情報はホームページにもまとめて掲載する。
イベント	勉強会	研究会会員限定。会員の知りたい事や課題を解決できるようなテーマとする。講師はテーマに応じて外部講師か参加メンバーが行う。
	セミナー	非会員も参加可能とする。毎回テーマを設定し、テーマに応じた講師による講演および質疑応答を主とする。パネルディスカッションを伴う場合もある。
	シンポジウム	「サツマイモ業界の今を知る」を目的とし、サツマイモに関する幾つかのテーマを設定し、サツマイモ業界の現状や課題、今後の方向性など、国内のサツマイモに関する産地・業種横断的な場として隔年開催する。

- 勉強会はオンオフ組み合わせ、セミナーとシンポジウムはオンライン開催を基本方針とする。
- イベントは公益性や緊急性の高いテーマ（例えば、サツマイモ基腐病対策）を除き、講師謝礼や運営費に充当するために必要な範囲で有償とする。

ホームページによる情報発信内容

項目	内容
研究者／専門家の研究・専門分野リスト	研究会会員の研究・専門分野リストを作成し、掲載する。
法人会員の商品・サービス紹介	法人会員が提供する商品・サービスを紹介する。サロンでのパンフレットの展示に連動する。
品種情報（サツマイモ品種詳説）	フォーマットの統一、検索可能な仕組みなど見やすさや使い勝手の向上をはかる。新しく登録された品種の情報はできるかぎり掲載できるように情報収集を進める。
栽培技術／病害虫対策情報	スマート農業活用マニュアルやサツマイモ基腐病情報ポータルとして、情報の蓄積と発信を行う。
加工技術の基礎	焼いも、干しいも、大学いも等の基本的な加工工程や技術の解説を掲載する。
国内サツマイモ活動一覧	日本各地各所でサツマイモに関する活動をしているヒト・団体や取り組みなどをまとめて紹介する。
蔵書（書籍・論文）リスト	サロンにある蔵書（書籍・論文）のリストを掲載する。
サツマイモ業界の動向等	ニュース等があればお知らせとして掲載する。

勉強会の開催およびテーマ案

■勉強会概要

- 勉強会は3ヵ月（または4ヵ月）に1回のペースで開催する。
- 開催場所はさつまいもサロン（北千住・興伸ビル2階）。Zoomでも参加可能とする。
- 基本は研究会会員限定。情報や課題を共有できる方を優先する。
- 独自のメーリングリストを作成する。（参加者名簿公開）

■勉強会テーマ案

現時点での案は次の通りだが、アンケート結果や勉強会参加メンバーからの要望を優先する。

- 各参加者の事業紹介や課題の共有
- サツマイモに関する補助事業の内容説明
- サツマイモの栽培・加工用機械の評価
- サツマイモ加工品の海外生産の状況
- 今後の加工向け品種の動向
- ベニアズマの今後の生産見込み
- べにはるかブームの動向（他品種の評価）

セミナーの開催およびテーマ案

開催(予定)時期	テーマ	内容
2022年8月	サツマイモ情報交流ネットワーク 2022	2019年6月に講演した内容から現在までの進捗状況について、サツマイモ情報センターやさつまいもアンバサダー協会の活動について
2022年10月	(テーマ未定)	
2022年12月	サツマイモ基腐病の現状と対応に関する情報交換会	サツマイモ基腐病に関する最新状況（今年度の発生・収穫状況）の共有
2022年3月	(テーマ未定)	

■サツマイモ産業振興セミナーテーマ案

- サツマイモの輸出動向
- サツマイモの貯蔵技術
- サツマイモの植付や収穫の機械化
- サツマイモに発生する病害虫および基本的な防除方法

さつまいもシンポジウム

サツマイモ業界の今を知る

シンポジウムでは、サツマイモ業界の現状、上記課題への取り組み、今後よりサツマイモ産業が発展していくための方向性など、国内のサツマイモに関する産地・業種横断的な場を構築して議論する。

サツマイモに関するいくつかのテーマを設定し、それぞれの分野で、川上から川下までの様々な方が参加し、情報や知見の共有と今後の方向性について議論することで、開催時点の「サツマイモ業界の全体像」が把握できるものとした。

※2023年1月末にJA東京アグリパークで開催できるように企画を進めている。

テーマ	内容	パネリスト
品種	育種、種苗提供の現場から	研究者、種苗会社
産地	生産現場から	生産者
加工	サツマイモを使った商品開発の現場から	干しいも、チップス等のメーカー
流通	toBの流通・販売の現場から	JA、卸業者
販売	toCの販売の現場から	サツマイモ専門店／焼いも屋
消費	消費者の立場から	アンバサダー関係者
海外	海外のサツマイモ事情	マトボロワ社、

さつまいもアンバサダー協会

さつまいもアンバサダー協会概要

サツマイモに関する**正しい情報の発信**、サツマイモの新しい価値創出を目指す企業・組織との**共創活動**、サツマイモの魅力を伝える**アンバサダー育成**を通じて、サツマイモ産業の持続的な発展に貢献することを目的としている。

現在5つの事業を軸に活動を行っている。

#	事業名	概要
1	メディア事業	WebサイトやSNS、書籍等によるサツマイモ情報の発信 外部メディア（TV、ラジオ、雑誌など）への対応
2	コミュニティ事業	当協会主催のイベント、さつまいもサロンの運営
3	コラボレーション事業	外部企業・組織との商品・イベント・PR企画の協業・サポートの実施
4	アンバサダー認定事業	さつまいもアンバサダー認定講座の運営
5	物販事業	通販サイトやイベント等でのサツマイモ商品の販売

運営体制 & 理事紹介

4名の理事および事務局で運営を行っている。



天谷窓大：焼きいも担当理事

フードイベントディレクター。
都市型焼き芋フェス「品川やきいもテラス」の立ち上げに参加。
焼き芋店舗のプロデュースも行う。



奥野靖子：大学いも担当理事

2012年に大学芋愛協会を設立し、会長となる。
大学芋やさつまいもに関する講座や、イベント企画、商品監修等を行う。



杉山彰啓：干しいも担当理事

干し芋専門店ほしいもの百貨、代表取締役。
茨城県境町干し芋カフェ「HOSHIIMONO 100 Café」オーナー。
他、売り方の講演、執筆、大学生発アンテナショップや地域食材のプロデュースも手掛ける。

協会の会員区分

会員区分をもうけ、それに応じたサービスなどの提供を行っている。

社員分類	形態	想定	提供	年会費(一口)
正会員	個人	理事メンバーならびに理事と同等レベルの活動を行っている個人	<ul style="list-style-type: none"> 総会への参加（議決権） 協会名やロゴの使用、名刺作成可能（個人使用に限る・無償） 	12,000円 (1,000円/月)
賛助会員	個人	サツマイモ好き（#さつまいも好きと繋がりたい）	<ul style="list-style-type: none"> 会員限定サイトの利用が可能 会員限定イベントへの参加 さつまいもサロンの利用無料 	3,600円 (300円/月)
	法人	サツマイモに絡んだ事業を行っている（行いたい）ところ	<ul style="list-style-type: none"> 法人会員リストの公開 協会のホームページやSNSを使った情報の発信 協会名やロゴの使用（事業活動での使用料は無料だが申請の上、理事会の承認が必要） 	36,000円 (3,000円/月)
認定会員	個人	さつまいもファン→認定講座を受講して、アンバサダーとして活動する方	<ul style="list-style-type: none"> 協会名やロゴ、肩書の使用、名刺作成可能（個人使用に限る・有償） 認定証の発行 会員限定サイトの利用が可能 会員限定イベントへの参加 さつまいもサロンの利用無料 	6,000円 (500円/月)

メディア事業 - 自メディア

ホームページ、SNS各種（Facebook & Twitter & Instagram）、Youtubeでの情報発信を実施。

情報発信する内容は、各メンバーが実際に体験したことや調べたことにしている、単なる情報まとめだけではないことを重要視している。



一級試験からなるさつまいもアンバサダー協会

さつまいもクイズ問題一覧

さつまいもクイズは[こちら](#)から挑戦できます

番号	問題文
1	サツマイモの産地はどこでしょうか
2	さつまいもにサツマイモを初めて加えたと思われる人物は誰でしょうか
3	日本に最初にサツマイモが伝わったのは何年（元・西暦）ですか、それは何州でまずですか
4	江戸幕府にちなんでサツマイモの別称が何個ありますか、サツマイモとして有名な人物は誰でしょうか
5	サツマイモは植物分類上、何科に属していますでしょうか
6	世界で一番サツマイモを生産している国はどこでしょうか (2020年時点)
7	日本で一番サツマイモを生産しているのは鹿児島県ですが、2番目はどこでしょうか (2020年時点)
8	日本が品種登録しているサツマイモの品種数はどれくらいでしょうか (2022年4月現在)
9	2020年に大賞の栄冠を戴いた「サツマイモの日」は何月何日でしょうか
10	一般的に芋虫はサツマイモを害虫として数知れませんが、一度多く発生されている品種はどれでしょうか (2020年時点)
11	サツマイモを加えるとデザート類に変わるお菓子になりますが、この餅に何（砂糖）がはいっていますでしょうか
12	江戸時代に出版されたサツマイモの料理書「芋問答」の中で、一番美味しいとされた料理はどれでしょうか
13	「なる」とは何、「とちよべ」とは何、「とちよべ」、「とちよべ」はすべて同じ品種から派生された品種ですが、その元となった品種はどれでしょうか
14	サツマイモの産地は常に正確な情報によって発信されています。産地情報もぜひご確認くださいませ

さつまいもアンバサダー協会 公式ch

チャンネル登録者数 722人

チャンネル情報

ホーム 動画 再生リスト チャンネル 検索

アップロード済み

【大塚市産地産地】産地から直接取り出した、さつまいもを味わおう！

【タンザニアのサツマイモ】はどのような味、食感、栄養があるのか？ 産地から探る。

【タンザニアのサツマイモ】はどのような味、食感、栄養があるのか？ 産地から探る。

HIGHBOND 100 Cafe (高本) サツマイモの健康効果と栄養素を詳しく解説！

紅土産、紅皮は、甘く、そして栄養満点！

【大塚市産地産地】産地から直接取り出した、さつまいもを味わおう！

【タンザニアのサツマイモ】はどのような味、食感、栄養があるのか？ 産地から探る。

【タンザニアのサツマイモ】はどのような味、食感、栄養があるのか？ 産地から探る。

【タンザニアのサツマイモ】はどのような味、食感、栄養があるのか？ 産地から探る。

【タンザニアのサツマイモ】はどのような味、食感、栄養があるのか？ 産地から探る。

【タンザニアのサツマイモ】はどのような味、食感、栄養があるのか？ 産地から探る。

sweetpotatoes.jp プロフィールを編集

投稿143件 フォロワー1409人 フォロー中125人

さつまいもアンバサダー協会

さつまいもに関する正しい情報の発信、サツマイモの新しい価値創造を目指す企業・組織との共創活動、サツマイモの魅力を活かせるアンバサダー育成を通じて、サツマイモ産地の持続的な発展に貢献します。

賛助会員は標準承認会員は審査中！

詳しくはHPの「入会のご案内」をご確認ください。

sweetpotatoes.jp

お知らせ 動画配信 YouTube

投稿 動画 13 写真共有 10 多言語対応済みの言語

メディア事業 - 外部メディア

依頼ベースでTVやラジオへの出演、雑誌などへの寄稿を行っている。



コミュニティ事業

もともとは協会を設立する前に行っていたサロンでの小規模イベント（勉強会や食べ比べ）を定期的
に開催する予定だったが、コロナ禍によりオンラインでの開催が中心となった。

ここ1年ぐらい手つかずの状態であったが、今後は会員を中心に、定期的なコミュニケーションをと
る場として開催を行う予定。

 **さつまいもアンバサダー協会主催!!**
オンライン・さつまいもを囲む会

 **with大学芋!**  **with焼き芋!**  **with干し芋!**

5月2日(土)
20時~22時

オンラインで
さつまいも食べつつ
さつまいも語り!
アンバサダー協会理事
がお供します。

 **さつまいもアンバサダー協会主催**
**さつまいも雑貨クリエイター芋小町さんを
囲むオンライントークイベント (グッズ付)**

6月13日(土) **締切**
19:00~21:00 **6/6(土)**

トークイベント料
付箋&シャープン付!!
1,000円



干し芋の現状とビジネス

おいもサロン@川越サツマイモまんが資料室



さつまいもアンバサダー協会代表理事
橋本亜友樹が講演予定



コラボレーション事業

これまでサツマイモに関するイベント企画や出演を主に実施。
商品などの企画やプロモーション支援の問合せもあり、今後は案件化できるように進める予定。



アンバサダー認定事業

◆背景

協会では「さつまいもを好きからもっと知りたいへ」を重要なテーマの一つとしている。

さつまいも好きという方はいっぱいいるが、さつまいも自体に関してはあまり知らないという感じの方が多。そういう方に、さつまいもを語れるようになってもらい、周りに語ることで、さつまいも好きが増えていき、繋がりがひろがることを目指している。

◆さつまいもアンバサダーとは

さつまいもアンバサダーは、サツマイモに関する基礎知識を身につけ、その魅力や価値を社会に広めることができるスペシャリスト。その使命はさつまいものファンを増やすこと。家庭や職場、飲食店や料理教室、学校や食育、海外で、さつまいものファンを増やしてくださる方に「さつまいもアンバサダー」になってもらうことを考えている。

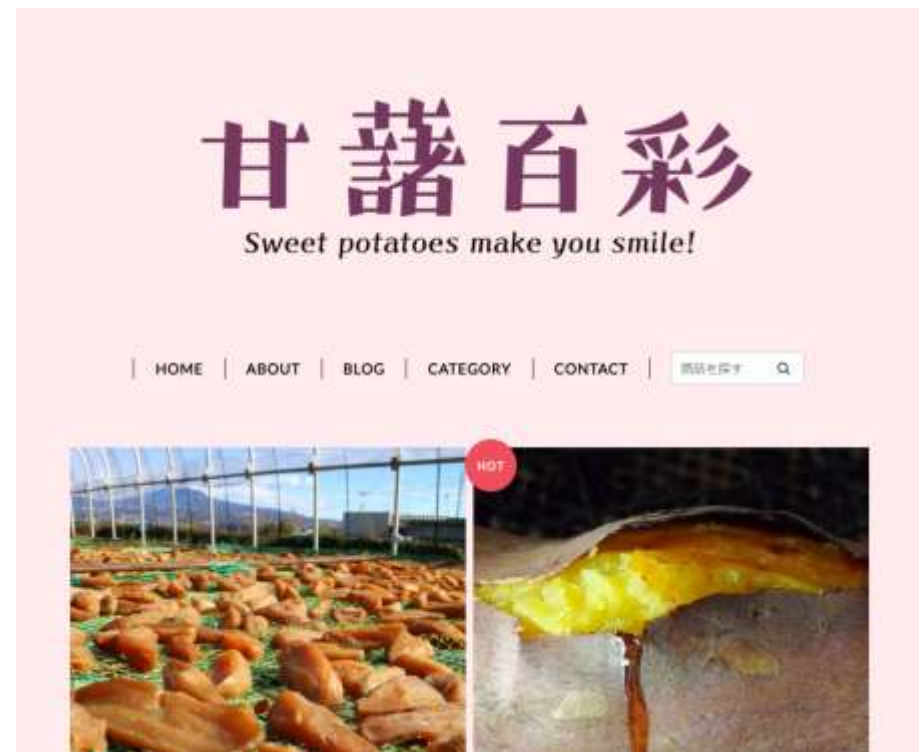
◆今後の予定

アンバサダー認定事業として、アンバサダー講座の開催を計画している。今年の冬には講座を開いていきたいと考えている。

物販事業

川越の紋蔵庵蔵の街店にさつまいも名品コーナーを設置し、さつまいもグッズやさつまいも加工食品を販売している。また、通販サイトでもサツマイモの販売を行っている。

会員企業を中心に取り扱い商品やテスト販売に繋げていきたいと考えている。



まとめ

人と情報の交流と課題解決のプラットフォームづくり

1. さつまいものバリューチェーン全体に対し、サツマイモ情報センター、さつまいもアンバサダー協会という2つの機関を設立して、サポートする基盤準備を整えた。今後はこの2つの機関を軸として、活動を進めていきたい。
2. 焼きいもブームの影響もあり、サツマイモがメディアで取り上げられることが増え、関わる事業者（生産／加工／販売）も増えている。そのような状況下で、雑多な情報が散乱しているように感じる。情報を検証し、まとめて、正しく発信することを行っていきたい。
3. オンラインでの会合や講演が一般的となり、物理的な距離に関係なく全国規模での交流は簡単にできるようになった。横の広がりだけではなく、その関係性を強化し、縦に深く繋がる仕組みを築いていきたい。

